

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月2日

上場会社名 アイカ工業株式会社  
 コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 修  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 百々 聡  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日

上場取引所 東 名

TEL 052-409-8261

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	59,178	11.7	5,154	5.4	5,340	5.1	3,034	5.5
21年3月期第3四半期	67,014		5,450		5,626		2,876	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	47.26	47.24
21年3月期第3四半期	43.56	43.55

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	85,980	67,241	77.4	1,036.97
21年3月期	84,330	65,478	76.9	1,010.40

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 66,589百万円 21年3月期 64,881百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		15.00		13.00	28.00
22年3月期		15.00			
22年3月期 (予想)				13.00	28.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	8.7	6,800	2.9	7,000	0.3	3,900	8.8	60.73

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ〔定性的情報・財務諸表等〕4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	69,890,664株	21年3月期	69,890,664株
-------------------	-------------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数	22年3月期第3四半期	5,675,525株	21年3月期	5,676,762株
---------	-------------	------------	--------	------------

期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	64,214,652株	21年3月期第3四半期	66,021,196株
--------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、4ページ〔定性的情報・財務諸表等〕3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機を背景とした景気低迷が続くなか、景況感の一部に改善の傾向が見られたものの、設備投資の減少や雇用情勢が悪化するなど、引き続き厳しい状況が続きました。

住宅市場におきましても、先行きの不透明感から住宅投資が一段と冷え込むなど大変厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループは、顧客に密着した営業活動の強化を図るとともに、グループをあげて業務改革を推進し、生産効率の向上、経費節減など各種コスト削減に努めました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高59,178百万円（前年同期比11.7%減）、経常利益5,340百万円（前年同期比5.1%減）、四半期純利益3,034百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

## （化成品セグメント）

環境配慮型商品である弾性接着剤や耐熱性能が要求される食品工場や厨房室の床に改修用として使用されるウレタン系塗床材は堅調でしたが、木工・家具用途向けの接着剤や外装・内装仕上塗材「ジョリパット」などは、市況の低迷により低調に推移いたしました。

なお、利益面につきましては、原価低減と経費削減などに努めた結果、収益は改善されました。

このような結果、売上高は16,887百万円（前年同期比15.4%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は1,230百万円（前年同期比59.0%増）となりました。

## （建装材セグメント）

建装材商品は、汎用性の高い単色メラミン化粧板の刷新やメラミン化粧板・不燃化粧材・フィルムシート材等の柄連動システムなどにより販売強化を図ってまいりましたが、店舗・商業施設や住宅市場の低迷により厳しい状況で推移いたしました。

このような結果、売上高は15,471百万円（前年同期比16.2%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は2,441百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

## （住器建材セグメント）

不燃化粧材「アイセラー」は、リフォーム市場やキッチン以外の用途拡大に努めた結果、堅調に推移いたしました。インテリア建材や各種カウンターは、戸建住宅への商品提案や多様なニーズへの対応を図りましたが、住宅市場の低迷を受け厳しい状況で推移いたしました。

このような結果、売上高は18,604百万円（前年同期比12.0%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は2,443百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

## （電子セグメント）

プリント配線板は、高速伝送設計・電磁波障害対策などの分野に注力しましたが、低調な結果となりました。

一方、受注状況には回復傾向が見られるようになりました。

また、電子材料は、アジア地域向けを中心とした需要の拡大にともない、売上げを伸ばすことが出来ました。

このような結果、売上高は3,488百万円（前年同期比25.3%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は226百万円（前年同期比47.9%減）となりました。

## （その他セグメント）

有機微粒子は、国内向けの光拡散材用途は需要の減少にともない苦戦を強いられましたが、化粧品・海外向け液晶用光拡散フィルム用向けは、好調に推移いたしました。

このような結果、売上高は4,727百万円（前年同期比69.1%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は242百万円（前年同期比55.6%増）となりました。

なお、売上高が前年同四半期に比べ大幅に増加しておりますが、前第3四半期連結会計期間より西東京ケミックス株式会社を新たな連結対象としたことによるものであります。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ1,649百万円増加し、85,980百万円となりました。主な資産の増減は「現金及び預金」が2,157百万円増加及び「受取手形及び売掛金」が645百万円増加したこと、「有形固定資産」が1,334百万円減少したことなどによるものです。

負債合計は前連結会計年度末に比べ112百万円減少し、18,739百万円となりました。主な負債の増減は流動負債の「その他」が1,307百万円減少したこと、「支払手形及び買掛金」が972百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,762百万円増加し、67,241百万円となりました。主な増減は「四半期純利益」で3,034百万円の増加及び「その他有価証券評価差額金」で468百万円増加したこと、「剰余金の配当」で1,798百万円減少したことなどによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.5ポイント増加し、77.4%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、平成21年11月4日公表の業績予想からは変更ありません。今後も厳しい経営環境が続くものと予想され、景気の深刻化の動向によって通期の業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には速やかに開示致します。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

#### 1) たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### 2) 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,884	18,726
受取手形及び売掛金	29,292	28,646
商品及び製品	3,727	3,983
仕掛品	267	202
原材料及び貯蔵品	1,520	1,544
その他	2,096	2,283
貸倒引当金	112	15
流動資産合計	57,676	55,373
固定資産		
有形固定資産	18,245	19,580
無形固定資産		
その他	1,467	1,889
無形固定資産合計	1,467	1,889
投資その他の資産		
その他	8,916	7,488
貸倒引当金	325	0
投資その他の資産合計	8,591	7,487
固定資産合計	28,304	28,957
資産合計	85,980	84,330
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,440	12,468
短期借入金	505	492
未払法人税等	972	236
賞与引当金	565	1,218
その他	2,101	3,408
流動負債合計	17,585	17,824
固定負債		
退職給付引当金	339	287
その他	814	740
固定負債合計	1,153	1,027
負債合計	18,739	18,852

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,745	13,745
利益剰余金	47,434	46,197
自己株式	4,924	4,925
株主資本合計	66,146	64,908
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	668	200
繰延ヘッジ損益	0	10
為替換算調整勘定	226	216
評価・換算差額等合計	442	26
新株予約権	23	18
少数株主持分	628	578
純資産合計	67,241	65,478
負債純資産合計	85,980	84,330

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	67,014	59,178
売上原価	49,619	42,478
売上総利益	17,394	16,699
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	3,210	2,812
給料及び賞与	3,514	3,214
賞与引当金繰入額	327	326
退職給付費用	170	209
貸倒引当金繰入額	-	423
その他	4,720	4,558
販売費及び一般管理費合計	11,944	11,545
営業利益	5,450	5,154
営業外収益		
受取利息	73	43
受取配当金	133	112
負ののれん償却額	5	-
その他	213	226
営業外収益合計	426	383
営業外費用		
支払利息	19	8
売上割引	56	61
減価償却費	-	50
持分法による投資損失	58	7
その他	115	68
営業外費用合計	249	196
経常利益	5,626	5,340
特別利益		
固定資産売却益	3	13
投資有価証券売却益	-	4
貸倒引当金戻入額	4	-
その他	7	0
特別利益合計	14	18
特別損失		
投資有価証券評価損	736	153
その他	54	38
特別損失合計	790	191
税金等調整前四半期純利益	4,850	5,167
法人税、住民税及び事業税	1,740	2,084
法人税等調整額	181	13
法人税等合計	1,922	2,071
少数株主利益	51	62
四半期純利益	2,876	3,034

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,850	5,167
減価償却費	2,421	2,325
のれん償却額	-	9
負ののれん償却額	5	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	4	422
賞与引当金の増減額(は減少)	648	652
退職給付引当金の増減額(は減少)	11	53
長期未払金の増減額(は減少)	34	8
受取利息及び受取配当金	207	156
支払利息	19	8
固定資産売却損益(は益)	2	13
固定資産処分損益(は益)	18	31
投資有価証券評価損益(は益)	736	153
投資有価証券売却損益(は益)	-	4
持分法による投資損益(は益)	58	7
売上債権の増減額(は増加)	783	979
たな卸資産の増減額(は増加)	3	214
その他の流動資産の増減額(は増加)	184	7
仕入債務の増減額(は減少)	296	971
その他の流動負債の増減額(は減少)	359	386
その他	100	37
小計	8,373	7,981
利息及び配当金の受取額	208	168
利息の支払額	19	8
法人税等の支払額	3,641	1,333
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,920	6,808
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	1,100
有形固定資産の取得による支出	1,471	1,279
有形固定資産の売却による収入	2	39
有形固定資産の除却による支出	8	4
無形固定資産の取得による支出	83	94
投資有価証券の取得による支出	533	641
投資有価証券の売却による収入	-	12
関係会社株式の取得による支出	162	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	337	-
貸付けによる支出	6	10
貸付金の回収による収入	9	16
その他	22	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,568	3,082



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	306	17
長期借入金の返済による支出	-	5
自己株式の取得による支出	2,003	1
配当金の支払額	1,860	1,799
少数株主への配当金の支払額	33	6
自己株式の売却による収入	2	0
少数株主からの払込みによる収入	8	-
セール・アンド・リースバックによる収入	1,159	-
リース債務の返済による支出	-	874
その他	-	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,035	2,669
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	0
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	741	1,057
現金及び現金同等物の期首残高	16,839	18,726
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	109	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,207	19,784

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	化成品 (百万円)	建装材 (百万円)	住器建材 (百万円)	電子 (百万円)	その他 (百万円)	計(百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	19,960	18,452	21,139	4,667	2,795	67,014		67,014
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,879	1,147				3,027	(3,027)	
計	21,839	19,600	21,139	4,667	2,795	70,041	(3,027)	67,014
営業利益	774	3,079	2,529	435	156	6,974	(1,524)	5,450

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	化成品 (百万円)	建装材 (百万円)	住器建材 (百万円)	電子 (百万円)	その他 (百万円)	計(百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	16,887	15,471	18,604	3,488	4,727	59,178		59,178
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,542	871				2,414	(2,414)	
計	18,429	16,342	18,604	3,488	4,727	61,592	(2,414)	59,178
営業利益	1,230	2,441	2,443	226	242	6,585	(1,431)	5,154

(注) 1 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分は、製品の種類、販売市場等を勘案し行っており、各事業区分の主要製品は次のとおりであります。

- 化成品 外装・内装仕上塗材、塗床材、各種接着剤
- 建装材 メラミン化粧板、化粧合板
- 住器建材 玄関・室内用ドア、インテリア建材、カウンタ -、収納扉、不燃化粧材
- 電子 プリント配線板、電子材料
- その他 有機微粒子、保存剤、他

2 前第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、前第3四半期連結累計期間の営業利益は化成品事業が9百万円、建装材事業が13百万円、住器建材事業が9百万円、電子事業が0百万円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)  
海外売上高は連結売上高の10%未満であるので記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)  
海外売上高は連結売上高の10%未満であるので記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)  
該当事項はありません。